

佳作 将来の恩人



ユ ナンダー ウィン
YU NANDAR WIN
国 籍 ミャンマー
職 種 介護
実習実施者 株式会社笑顔いちばん
監 理 団 体 ー

「元気とユーモアのない社会に明るい未来はやってこない」あるアニメの中の主人公が言った言葉、私の大好きな言葉です。日本に来る前、その言葉はただアニメのセリフだと思っていましたが日本に来て2年の間に色々勉強になってその言葉の意味をもっと理解できるようになりました。

2年前、日本に来たばかりの私は今の私と違って挨拶する声も小さかったしあまり元気も出なかったです。私は家族や友達や知り合いとは元気で気軽に会話できますが、知らない人や初めて会う人の前では借りてきた猫みたいです。緊張するのはもとより「相手が自分の話を聞きたいのかな、自分から話しても良いのかな」と自分の中でも色々考えて不安になって言葉もなかなか出なかったです。そういう劣等感がある自分が嫌です。その癖を直してもっと明るい人になりたいけれども前は直す自信がなかったです。でも私は将来の恩人に助けてもらったおかげで悪夢から起きたみたいに嫌な癖を直せました。

その将来の恩人は私が勤めている店の施設長です。なぜ将来の恩人と呼ぶかというと施設長から色々な良い事

を教えてもらって私の将来の見通しは明るくなってきたと思うからです。施設長は仕事には厳しい人である一方でとても優しい人です。最初は親しくない人と話しづらい私なので日本人が大事にしている報連相をちゃんとできなかった時がありました。後で施設長に知られて怒られたことが何回もありました。でも施設長は私を嫌いにならず私ともっと親しくなる為工夫してくれました。これは交換日記です。お互い一日あった事、感じた事、言いたい事をノートの中に書いて、交換するようにお互い話し会って決まりました。交換日記のおかげで自分の困っている事や相談したい事などが言いやすくなって施設長ともっと親しくなってきました。そして施設長は仕事について良いアドバイスを教えて下さったり、私ができたことを褒めて下さったりしたおかげで私はもっと仕事できるようになりました。そうして下さった事で自分に自信が付いてもっと元気で笑えるようになりました。施設長がいつも教えて下った事は元気で大きい声で挨拶する事です。相手から元気で挨拶されると自分も嬉しいです。今は朝から元気な姿で挨拶して一日中ご利用者様と他のスタッフと話したり、笑ったりして働きながら幸せな毎日を過ごしています。

自分の性格も変わって成長を感じられるのは施設長のおかげなのでいつも心から感謝しています。これから私は日本語のN1レベルの試験を受けて介護の技術を一杯学んで母国の次世代に教えられる先生になる為頑張ります。私みたいに元気がない劣等感がある子があったら自信が付くまで助けてあげたいです。アニメのセリフのように次世代に明るい未来が来る為元気出して皆んなと一緒に笑える環境を作れたら良いと思います。